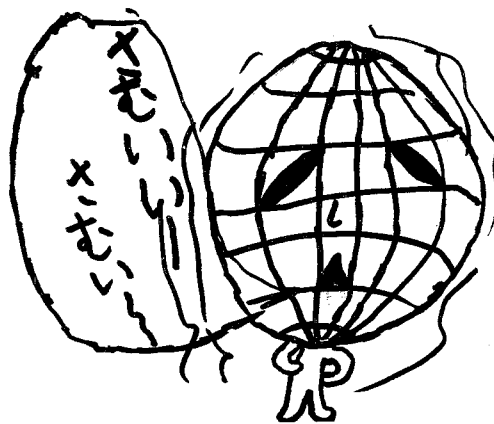


◇ 2月の天文暦 ◇

| 日時 | 記 | 事 |
|-------|----|-------------|
| 1 8 | 土星 | 留 |
| 5 2 | 立春 | (太陽黄経 315°) |
| 6 10 | 月 | 最遠 |
| 7 20 | 下弦 | |
| 15 9 | 朔 | |
| 17 16 | 水星 | 外合 |
| 18 4 | 月 | 最近 |
| 19 22 | 雨水 | (太陽黄経 330°) |
| 22 2 | 上弦 | |
| 29 12 | 望 | |



言いたい放題・言いたい放題・言いたい放題

天文屋日本分店

エコノミックアニマルのレッテルをつけられた日本をはじめ各国が競って石油を食いつぶしてしまったら地球のエネルギー収支は不健全である。人間が将来も地球で生きてゆくためには、太陽からのエネルギー収入を超過する消費は許されない。太陽エネルギーの地球での用途の殆んどは気温で代表される自然環境の保持に使われる。

人間活動のための使用エネルギーの許容範囲を太陽からの入射エネルギー束の総量(毎分 1.9 cal/cm²)の一万分の一と安全に見積ってみよう。このエネルギー消費量は20億人の人間にガソリンに換算して1人当たり1日約25lの配給量である。これを超過して使用すれば地球資産の元金に手をつけ、子孫に借金を残す大酒飲みの親父の名をいただかなければならない。

寒くなる地球で凍死しないために禁酒するか、または酒は飲みほうだいで何か名案をあみだすかいずれかであ

る。ぜいたく三昧になれて来た人間には禁酒は無理なことゆえ、安月給の地球物理屋、天文屋を使って配給エネルギー量(自然環境保持)の勘定、地球外からの無断借用、また天国の楽園の歴訪を考えるであろう。ある人間は配給エネルギーを上まわる浪費をひそかにたくらんで大気・海洋用のエネルギーまで食い込んでしまうかもしれない。その結果地球の回転エネルギーにも手をつけ、自転速度、極運動、また天球座標系の観測もメチャメチャにされてしまう。こうなると地球以外の空間を握っていた天文屋の店先の太陽系近傍には地球エネルギーのガードマン、ほかの天体から無断借用運送業、また天国観光業などの進出が目立ってくるであろう。天文屋の律義者の兄弟がそれぞれガードマン、運送業および観光業の使用人ならぬ主人となって、うんともうけ、一見金に無縁の末弟の銀河系内外への夢を育て、天文屋の屋号を末長く残してゆくほうがよいと私は思う。しかも天文屋日本分店にはエコノミックアニマルの汚名を挽回するためにも、ガードマン食客が沢山いてもいいのではないでしょう。 (絵と文: 緯度観測所 角田忠一)

